

2月5日 共通テスト+探究型総合問題方式

(注意事項)

- ・示した解答例はあくまで一例であり、本試験の解答は一つではありません。
- ・公開している文書・画像等のコピー・転載は禁止します。

設問1. (1) 与えられた資料から、自分なりの「問い」を異なる視点から3つ挙げなさい。その際、2つ以上の資料を関連付け、「関連付けた資料番号」を記入しなさい。

1 (1) 問い①

問い①の内容:	人口の割合と温室効果ガスの排出量は比例していない。経済成長と温室効果ガスの排出量削減を両立するためには、どのような取り組みが効果を最大化できるのか。
問い①の関連資料番号	②③④

1 (1) 問い②

問い②の内容:	国による環境教育の違いは、個人の意識や行動にどのように影響を与えていると考えられるか。
問い②の関連資料番号	①③⑤

1 (1) 問い③

問い③の内容	アメリカがパリ協定から離脱後、世界全体やアメリカにどのような影響や不利益をもたらすと考えられるか。
問い③関連資料番号	②③④

設問1. (2) 本試験で取り組む「問い」を1つ選択しなさい。

(<input type="radio"/>) 問い①	(<input type="radio"/>) 問い②	(<input type="radio"/>) 問い③
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------

設問2. 設問1. (2) で当該の「問い」を選択した理由(選択した「問い」のもつ意義や社会的価値等)を書きなさい。
<200字以内>

温室効果ガスの排出量は、産業構造やエネルギー利用、歴史的な経済発展、国民の意識・生活習慣など多様な要因が影響している。また近年はスマートシティ化が進む国も増えている。これらの政策や取り組みを多角的に分析することは、実効性のある対策や個人の行動を具体的に考えるうえで重要であり、国際社会における責任や公平性を考察する上でも意義がある。さらに経済成長と環境問題を併せて考えることも社会的価値がある。

設問3. 上記1. (2) で選択した「問い」に対する「自分なりの答え(仮説)」を記入しなさい。

国の政策やスマートシティで導入されるデジタル技術等によって、エネルギー利用や交通の効率が大幅に向上することで、経済的発展も維持しながら結果として都市全体の温室効果ガス排出量を減少させることができるという仮説を立てる。

設問4. (1) 「自分なりの答え(仮説)」を証明するために、どのようなデータや調査結果等が必要であるかをできるかぎり具体的に書きなさい。その際、複数のデータや調査結果等が必要な場合は、すべて書き出しなさい。

- ・国ごとの人口と温室効果ガス排出量のデータ(各国の総人口、温室効果ガス排出量、一人あたりの温室効果ガス排出量)
人口が少ない国でも排出量が多い国、人口が多くても排出量が少ない国を比較する。
- ・経済発展のレベルを示すデータ(各国のGDP、一人あたりのGDP、先進国・発展途上国の区分)
経済の発展段階と排出量の関係を調査し、経済発展の違いを検証する。
- ・産業構造に関するデータ(各国における第一次産業、第二次産業、第三次産業の割合、工業や製造業が占める比率)
工業化の進んだ国ほど排出量が多いのかを確認する。
- ・生活水準・生活レベルに関するデータ(飛行機や電車など公共交通機関の利用率、自家用車の保有率、電力使用量、冷暖房の普及状況など)
大量消費型の生活が排出量に影響しているかを確認する。
- ・スマートシティで導入されているデジタル技術の例や交通の効率化により削減される温室効果ガスのデータ
どのような技術やモビリティが温室効果ガスの排出量削減に効果的であるか比較する。
- ・スマートシティ導入前と導入後やスマートシティと非導入都市における温室効果ガスの排出量比較データ
スマートシティ導入の効果検証をする。
- ・スマートシティ化が進んでいる国の環境政策、温室効果ガス排出量に関するデータ
国レベルでの取り組み、効果を検証する。
- ・教育・環境意識に関する調査データ(気候変動や環境に関する各国の意識調査、環境教育の事例など)
排出量削減に向けた個人の行動との関係を考察するため。

設問4. (2) 上記(1)のデータや調査結果等を得るために、どのような実験や調査等を行う必要があるかをできるかぎり具体的に書きなさい。その際、複数の実験や調査等が必要な場合は、すべて書き出しなさい。

- ・各国の人口・温室効果ガス排出量、GDP や産業構造に関するデータについては、国際機関や日本政府が発行する白書などの統計資料を収集、分析を行う必要がある。必要に応じて、データ加工を行い、グラフなどで比較できるようにする。
- ・世界のスマートシティ導入事例やスマートシティにおける温室効果ガスの排出量データをインターネット等で調査・分析する。
- ・スマートシティ導入前・導入後や導入都市と非導入都市の温室効果ガスの排出量を比較・分析する。
- ・国別のスマートシティ政策や環境政策の内容、国の予算・投資額データ
- ・適切なデータがない場合は、専門家による文献や企業などが発行する資料等も収集する。
- ・一人あたりのエネルギー消費量や電力使用量は、電力だけでなく、飛行機や電車などの公共交通機関の利用率、自家用車の保有率などについても調査する。利用率とあわせて、飛行機や電車でのエネルギー消費に関するデータも収集する。
- ・教育・意識に関する調査データとして、日本国内でのアンケート調査やインターネット調査を行い、国や年齢などでの違いがないか比較を行う。